

平成 22 年度 活動計画

事業項目	概要
<p>1. 環境保全活動</p> <p>①団体・企業清掃</p> <p>②定例クリーン活動</p> <p>③特定外来種駆除</p>	<p>企業・団体の社会貢献型活動やボランティア活動を、自治体や他団体と連携し引き続き実施する。清掃活動の対象地域は、昨年に引き続き山麓の山間部だけではなく市街地付近や周辺山地、海岸にまで拡大した活動とする。活動実施回数は 50 回程度を予定している。</p> <p>昨年度で 5 カ年計画を終了した、青木ヶ原樹海清掃については、ゴミゼロの目標を達成させるため、今後さらに活動を継続させる。とともに、新たな不法投棄防止のための企画立案や、これまで着手していないマーキング等の諸問題についても新たに展開し、清掃活動のモデルケースとして確立させるために関係各所との連携をさらに深めていく。</p> <p>毎月 1 回、静岡または山梨で実施。個人会員はもちろん、地元住民や団体会員となっている企業団体に属する個人の参加も呼びかける。また、新たな試みとしてゴミゼロの日にあわせて、5 月 29-30 日に、海をつくる会と共催で、山麓及び湖の清掃活動イベントを実施する。また富士山クラブの活動に協力している学生ボランティア（NUTS）が首都圏 2 3 区で行う清掃活動にも協力する。</p> <p>侵略的な外来生物が及ぼす富士山麓の在来種を含む生物多様性への影響を可能な限り抑止するとともに、富士山からの新たな拡散を防ぐために、新たなプロジェクトとして特定外来植物の分布調査活動及びそのデータに基づく駆除活動を開始する。分布調査は 3 年計画で行い、今年は静岡地域を重点的におこなう。調査に関しては、専門家の評価や調査も受け、調査データはデータベース化し、地図上で可視化できるように工夫し、駆除活動のほか、環境教育活動、政策提言活動に役立てる。</p> <p>駆除活動については、今年はまだこれまで清掃活動を実施していた企業団体等に働き掛け、年 4 回程度の駆除活動を実施する。</p>
<p>2. 環境教育活動</p> <p>①教育プログラム</p>	<p>21 年度に引き続き、富士山の清掃活動や自然体験活動などを通じた活動を展開。環境教育プログラムとしての清掃活動は年 20 回程度を実施予定。富士山周辺の教育機関への環境教育活動の普及については、引き続き実施し、教育委員会をはじめとする教育機関へのアプローチを行う。</p>

<p>②定例グリーン活動</p> <p>③リーダー養成講座</p> <p>④その他</p>	<p>年4回、トレック&クリーンを2回、野外活動を2回予定している。</p> <p>既存の富士山クラブ個人会員が、より直接的に活動に携われるよう、21年度も引き続き、ブルーリーダー養成講座、並びにグリーンリーダー養成講座を開催する。受講目標人数は、各講座共に10名とし、環境教育スタッフの拡充を目指す。なお、募集に関しては、個人会員に留まらず、広く一般にも呼び掛け、新規個人会員獲得にもつなげる。</p> <p>昨年度に引き続き、富士山麓で子どもキャンプを開催する。エコをテーマにしたプログラムで8月に4日間、小中学生30人を募集して行う。</p> <p>富士山クラブの重点的に行う実践活動の成果および、その活動で蓄積してきた写真、調査データ、識者のコメントなどを活用し、①初級レベル（小学生レベル）②中級レベル（中学～高校）の環境教育教材（印刷物、ワークシート）を制作する。また、内容の一部を、富士山クラブのWEB上で閲覧やワークシートのダウンロードを可能にし、より多くの教育関係者や生徒たちが利用できるように公開する。</p>
<p>3. 森林保全活動</p> <p>①森づくり</p> <p>②富士山南面森林調査</p>	<p>4月～12月まで1回/月で実施する。21年度に調査記録したブナやミズナラを中心に生育状況の確認及び食害対策の活動を行う。ニホンジカの食害は、富士山地域で深刻な問題になりつつあり、富士山国有林森づくり連絡協議会（事務局：静岡森林管理署）のメンバーとしても、現状把握などの実地調査に参加し、情報交換を行う。西臼塚で管理している国有林について、静岡県森林管理署との管理協定契約は、9月までとなっているため、調整の上、協定契約を更新する。（5年間）</p> <p>伐採を免れて残された富士山南斜面の天然林で、年代を重ねてきた大径木と、その生育環境、周辺の希少植物などを調査記録し、天然林本来の様相を明らかにすることで、豊かな生物多様性が保たれていた富士山南斜面の森林を復元する。今年度も引き続き、調査活動は、月2回、年合計24回を予定している。未調査地域に加え、過去に調査した地域の補足調査を実施する。22年度中に富士宮市から富士市に調査エリアを拡大する。専門家による評価・調査による助言により調査を進めるほか、富士山の森についての理解を深め、また調査参加者を募るため、体験会を実施する。</p>

<p>4. ネットワーク活動</p>	<p>本部を山梨事務所に移転するのにもない、地元とのネットワーク強化を図る。また東京での、行政、企業、NPOとのネットワークを維持するため、情報交換の機会をつくり、緊密な関係を続けていくように努める。</p> <p>会員ネットワーク、地域コミュニティとの活動交流の一環として、7月1日に開山祭見学ツアーと7月に2回、会員交流のための、富士登山を実施する。</p> <p>富士山での環境保全活動から全国的な環境保全活動へとネットワークを広げるため、「第4回ふるさと清掃運動会」への参加呼びかけを行う。</p> <p>姉妹山マウントレーニア国立公園の、日米教育交流の国際プロジェクトに協力し、地元の教育委員会と連携し、交流ネットワーク作りに参加し、教育機関との協力関係を強くする。8月に静岡県より高校教師2人、山梨県より中学教師3人がマウントレーニア国立公園で行われるワークショップに派遣するため、コーディネートを行う。</p> <p>アジア3R市民フォーラムに参加し、アジア地域での3R推進の情報交換を行い、地球的視点で考えながら、地域活動の発展、問題解決に役立てる。</p>
<p>5. 広報活動</p> <p>①クラブ通信・HP</p> <p>②フォーラム セミナー</p> <p>③イベント・出展</p>	<p>富士山クラブ通信は年4回発行する。全面リニューアルしたホームページを4月から運営。ブログ、お知らせ、読み物を充実させ、富士山クラブからの発信量を増やし、通信、ホームページともコミュニケーション充実を図る。</p> <p>既存の会員はもとより、新たな会員獲得をめざし、富士山への関心や理解を深められるような小セミナーを企画する。定例となっている富士山の日フォーラムについては、「生物多様性」をテーマに、静岡県で開催を予定。</p> <p>富士山クラブの活動をより多くの人に知ってもらうため、環境省や市民団体ネットワークなどが行うNPOの活動紹介イベントに参加する。地元の活動にも積極的に参加する。もりの学校を活用し、会員や地元の人が集まるイベントを企画する。</p>
<p>6. 富士山大好き！百人の会</p>	<p>富士山クラブの応援団として、メンバーの方に具体的に活躍してもらえそうな企画や提案を行っていく。</p>

9. 財務基盤の強化

東京事務所を閉鎖し、山梨事務所に本部を移し、経費削減を行う。現活動の内容の充実や発展を図るとともに、次年度に実行できるような、新規プロジェクトを企画検討し、寄付や助成金などの活用など、新たな資金調達や支援を図る。

定例清掃活動やフォーラムなど、多くの一般参加が見込めるような機会に、入会を積極的に呼び掛ける。富士山クラブグッズ（缶バッチ等）の販売、募金活動も継続して実施していく。

支援や募金を求めるキャンペーンを機会をとらえて実施する。

平成22年度 収支予算書
 特定非営利活動法人富士山クラブ
 平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位:円)

科 目	H22年度 予算額(A)	H21年度 実績額(B)	差異 (A-B)	備 考
【経常収入の部】				
1.会費収入	6,300,000	6,056,000	244,000	個人会員+100名 団体会員+12団体
2.活動収入				
環境保全活動収入	11,600,000	13,064,900	△ 1,464,900	団体・企業清掃、特定外来種駆除、クリーン活動
環境教育活動収入	6,000,000	6,187,350	△ 187,350	環境教育プログラム1・2、グリーン活動、リーダー養成、キャンプ参加費
森林保全活動収入	0	0	0	
ネットワーク活動収入	400,000	544,540	△ 144,540	富士登山、開山祭参加など
広報活動収入	0	0	0	
富士山大好き！百人の会収入	0	0	0	
10周年記念事業収入	0	406,500	△ 406,500	
小計	18,000,000	20,203,290	△ 2,203,290	
3.助成金・補助金等収入	11,500,000	16,187,028	△ 4,687,028	環境省グリーンワーカー事業、セブーンイレブン記念財団
4.協賛金・協力金収入	3,000,000	3,410,000	△ 410,000	(株)毎日新聞社、富士急行(株)
5.募金・寄付金収入	17,000,000	6,347,603	10,652,397	水と緑と命の基金への募金、個人・企業からの寄付 日本音楽事業者協会より車両寄付(1000万円)
6.雑収入	2,200,000	1,334,816	865,184	東京事務所保証金返還、もりの学校使用料、グッズ販売など
経常収入合計(①)	58,000,000	53,538,737	4,461,263	
【経常支出の部】				※1
1.活動費				
環境保全活動費	14,250,000	13,975,453	△ 274,547	団体・企業清掃、特定外来種駆除、クリーン活動、(セブーンイレブン記念財団助成金及び環境省補助金該当分支出含む)
森林保全活動費	5,000,000	2,445,453	△ 2,554,547	森林調査、森づくり(セブーンイレブン記念財団助成金該当分支出含む)
環境教育活動費	11,150,000	5,452,956	△ 5,697,044	教育プログラム1・2、グリーン活動、リーダー養成、こどもキャンプ、教育教材制作(セブーンイレブン記念財団助成金該当分支出含む)
ネットワーク活動費	600,000	492,326	△ 107,674	開山祭、富士登山参加費など
富士山大好き！百人の会活動費	100,000	0	△ 100,000	取材、連絡費
広報活動費	5,000,000	3,037,045	△ 1,962,955	ホームページ、富士山クラブ通信、富士山の日フォーラム、イベント出展、グッズ製作
10周年記念事業費	0	1,209,187	1,209,187	
小計	36,100,000	26,612,420	△ 9,487,580	
2.助成金・補助金事業費	0	1,426,373	1,426,373	助成金、補助金1300万円は、活動費の中で支出
3.管理費	13,800,000	18,067,386	4,267,386	※2
経常支出合計(②)	49,900,000	46,106,179	△ 3,793,821	
経常収支差額③(①-②)	8,100,000	7,432,558	△ 667,442	

平成22年度 収支予算書
 特定非営利活動法人富士山クラブ
 平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位:円)

科 目	H22年度 予算額(A)	H21年度 実績額(B)	差異 (A-B)	備 考
【その他資金収入の部】				
1. 特定積立金取崩収入	525	525	0	残高証明書発行手数料分
その他資金収入合計(④)	525	525	0	
【その他資金支出の部】				
1. 気象観測装置購入支出	0	215,615	215,615	
2. センサーカメラ購入支出	0	104,246	104,246	
3. 水と緑と命の基金積立金支出	1,040,000	1,573,837	533,837	H21年度予算残高54万円、平成22年度募金額50万円
4. 夢債券償還積立金支出	0	4,545,682	4,545,682	H21年度に全額積立完了
5. 車両購入支出	10,000,000	0	△ 10,000,000	車両購入代を差し引いた残高は、車両維持費として積立予定
6. もりの学校修繕積立金支出	3,000,000	0	△ 3,000,000	
その他資金支出合計(⑤)	14,040,000	6,439,380	△ 7,600,620	
当期収支差額⑥(③+④-⑤)	△ 5,939,475	993,703	6,933,178	
前期繰越収支差額⑦	14,037,523	13,043,820	△ 993,703	
次期繰越収支差額(⑥+⑦)	8,098,048	14,037,523	5,939,475	

平成22年4月8日現在

注記

※1 各活動の主な経費を科目別に集計した合計

科目	H22年度 予算額(A)	H21年度 実績額(B)	差異 (A-B)
職員人件費	17,179,660	19,614,953	2,435,293
臨雇人件費	3,929,000	4,817,360	888,360
旅費交通費	1,666,630	2,863,572	1,196,942
消耗品費	898,000	1,977,593	1,079,593
通信運搬費	1,338,620	1,501,143	162,523
賃借料	1,400,000	3,878,124	2,478,124
保険料	1,000,000	881,411	△ 118,589

※2 管理費内訳

科目		H22年度 予算額(A)	H21年度 実績見込額	差異 (A-B)
人件費	職員人件費	6,520,000	8,736,734	△ 2,216,734
	臨雇人件費	200,000	288,970	△ 88,970
	旅費交通費	380,000	574,082	△ 194,082
事務所費	賃借料	325,000	2,678,124	△ 2,353,124
	光熱水料費	53,000	200,673	△ 147,673
	通信運搬費	250,000	420,662	△ 170,662
	リース料	72,000	286,020	△ 214,020
諸経費	支払手数料	150,000	122,763	27,237
	会議費	300,000	350,620	△ 50,620
	顧問料	800,000	546,000	254,000
	租税公課	685,000	662,791	22,209
	業務委託費	2,000,000	2,400,000	△ 400,000
	その他	2,065,000	799,947	1,265,053
合計		13,800,000	18,067,386	△ 4,267,386